

## 2022.7月のブルーベリー農園その4

どうも天気が安定しないが、晴れ間をぬって摘み取り、草刈り、テントタープの設置などを行う。ブル

ーベリーも実の状態は例年より1週間程度実るのが早いようで、安芸の郷でのブルーベリーの販売も少し早めている。ブルーベリーの摘み取りシーズンに入ったので、にぎやかであわただしい日々が続いている。



7月23日(土)  
農園に広がる青空



農園の庭のユッカに残るセミの抜け殻



摘み取り援農の友人たちは里山のブルーベリー園に向かう。



7月25日(月)  
4つの援農グループが来園。午前中の摘み取りを終えてブルーベリーを集め、お昼の休憩に入る。



7月24日(日)  
里山東側のブルーベリー園の草刈りが終了。摘み取りシーズンにどうにか間に合った。



摘み取り援農の皆さんにはいつも2時頃に休憩している。その間にブルーベリージュースを飲んでいただく。暑い中なので特においしく感じられるようだ。



森の工房みずくの利用者、職員3名も摘み取りを行う。援農の皆さんの摘み取った実も一緒に持ち帰り、選別も行って生食の注文を一つ一つさばいていく。8月いっぱい忙しい日々がつづく。

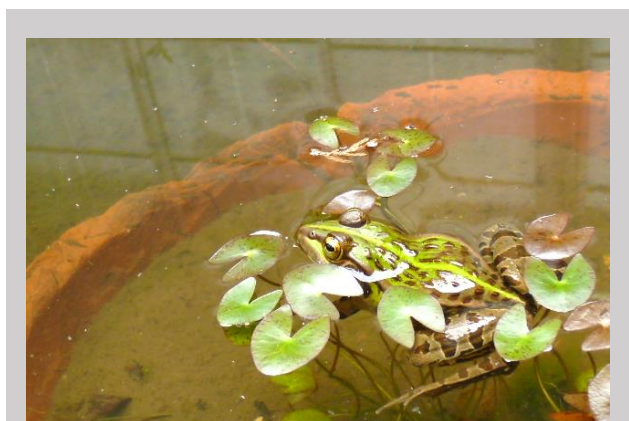


帰り道にある田んぼ。雨が降った後うっすらともやがかかる。

2022年7月31日  
社会福祉法人安芸の郷  
理事長 遊川和良



7月27日(水)  
テントタープ、テーブルを設置。



2時前雨が降り出した。この日はブルーベリーの摘み取りで農園から依頼した東広島市の就労継続支援B型の事業所「エミリィプラス」の皆さんも来園。予定をこなして帰途につく。

《2022年7月31日の「新・ヒロシマの心を世界に」のブログに掲載したものに写真を加えて編集しなおしています》

